

まいばら事業仕分け2011

8月21日(日) 9時30分～16時40分
ルッチプラザ



●市民目線で事業を診断

市が実施している事業について、その必要性や実施方法の妥当性を外部の視点を入れて議論・評価し、よりよい姿へ事業を再構築していくために「まいばら事業仕分け2011」を実施します。

今年度の対象事業は次の15事業です。事業仕分けの結果を参考に市の最終方針を決定して、平成24年度以降の予算に反映していきます。

事業仕分け当日の議論は、すべて公開しますので、お気軽にご来場ください。また、当日の結果は市のウェブサイトや広報まいばらでお知らせします。

●今年度の対象は15事業

対象事業とH23事業費 (職員人件費除く)	事業概要	議論のポイント
市民活動団体等支援事業 565千円	団体紹介冊子の発行やまちづくり交流会の開催など、地域のまちづくり活動活性化の支援。	活動支援のあり方の検討
人権対策事業 2,379千円	人権フォーラムの開催や人権作品の募集などによる啓発活動のほか、相談事業・研修会を開催。	同種フォーラム等との整理
たばこ販売振興連絡協議会補助金 480千円	たばこ税増収と社会環境の調和を図るため、市内購入の啓発や環境美化活動に対し補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
消防団員活動事業 26,156千円	消防団員の報酬のほか、技術向上のための研修会負担金など。	適正な団員数、 自主防災組織との整理
老人クラブ関係補助事業 14,505千円	高齢者の福祉増進のため、旧町域ごとの支部組織と各単位組織の活動に対し補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
シルバー人材センター支援事業 15,350千円	人件費や事務所管理費のほか、高齢者のいきがいきづくり・社会参加のための事業に対し補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
社会福祉協議会支援事業 62,800千円	社協の運営に関する人件費、ボランティア活動や子育て支援事業などに関する補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
結婚相談事業 770千円	毎月2回相談員が結婚相談を受けて、相手のあつせんを行うほか、イベントを企画し出会いの場を提供。	事業を市が実施する必要性
観光イベント支援事業 4,990千円	地域資源を活かしたイベントを支援するため、実行委員会などに補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
農業組合育成事業交付金 3,320千円	組織的な農業の運営や農用地の有効利用、経営改善を図るため、各集落の農業組合に補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
市有バス運行事業 5,240千円	公共的な活動を支援するため市有バス3台を配備し管理・運行。(他に福祉バス2台、学校支援バス1台)	福祉バス等との運行整理
まちづくり活動支援事業 15,756千円	コミュニティ機能の強化・活性化を進めるため、各自治会の施設整備や備品整備に対し補助金を交付。	補助金の妥当性、有効性
放課後安心プラン事業 62,444千円	放課後の子どもの居場所として「放課後児童クラブ」・「放課後キッズ」を委託運営(一部直営)。	地域との関わりの検討
はにわ館管理運営事業 4,606千円	埴輪と古墳をテーマにしたミュージアム・地域情報室・ホールを運営。	施設運営のあり方の検討
図書館管理運営事業 35,418千円	お話し会の開催や資料探しのサポートなど、市民の役に立つ図書館をめざして山東・近江の2館を運営。	2館の特性を活かしたあり方の検討

お問い合わせ 政策調整課 経営戦略室(米原庁舎) ☎52-6626 📠52-5195